参考資料

令和5年2月補正事業概要(新型コロナウイルス感染症関連)

保健医療局

議案第 1 号 令和4年度福岡市一般会計補正予算案 (第6号)

(単位:千円)

	就来第一 5			(単位:千円)	
目		補正前の額※	補正額	補正後の額	概要
	(1) 公費負担 (保険適用検査)		871, 572 ( 421, 557 ) 450, 015 [財源内訳] 国 421, 557 県 0 起 0	2,965,226 ( 1,429,130 ) 1,536,096 [財源内訳] 国 1,429,130 県 0 起 0	〇医療機関が保険診療で実施した核酸検出検査・ 抗原検査の自己負担相当額に対する公費負担を実 施
	② 相談体制強化事業 (相談ダイヤル)	919, 461 ( 35, 806 ) 883, 655 [財源内訳] 国 35, 806 県 0 起 0	419, 242 ( 934, 123 ) △514, 881 [財源内訳] 国 0 県 934, 123 起 0 他 0	1,338,703 (969,929) 368,774 [財源内訳] 国 35,806 県 934,123 起 0 他 0	〇新型コロナウイルス感染症に関する市民等からの相談や連絡に対して、専門職(看護師・保健師)による24時間対応の相談窓口を設置し、必要に応じてかかりつけ医等の身近な医療機関への受診や、診療・検査ができる医療機関を案内
感染症対策費	(③) 特別給付金交付事業 (医療)	511, 450 ( 140, 600 ) 370, 850 [財源内訳] 国 132, 387 県 0 起 0 他 8, 213	404, 765 ( 0 ) 404, 765 [財源内訳] 国 0 県 0 起 0	916, 215 ( 140, 600 ) 775, 615 [財源内訳] 国 132, 387 県 0 起 0 他 8, 213	〇新型コロナウイルス感染症に係る自宅療養者に 対して往診や外来、電話等での診療を行う医療機 関の尽力に対し、給付金を支給
	④ 新型コロナウイルス 感染症外来医療 ひつ迫対策事業	364, 334 ( 0 ) 364, 334 [財源内訳] 国 0 県 0 起 0		405,833 ( 129,882 ) 275,951 [財源内訳] 国 129,882 県 0 起 0	〇新型コロナウイルス感染症外来医療のひっ迫状況を緩和するため、県や保健所設置市(福岡市、北九州市、久留米市)が連携して、「キット配付・陽性者登録センター」を設置
	⑤ 新型コロナ高齢者 検査助成事業経費	( 0 0 ) 0 ( 0 0	52,500 ( 52,500 [財源内訳] 国 0 県 0 起 0	52,500 ( 0 ) 52,500 [財源内訳] 国 0 県 0 起 0	〇新型コロナ高齢者検査助成事業(※)の国庫支出金の精算(超過受入)に伴う国への償還金 ※新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクが高い高齢者を守るため、発熱など感染症の疑いがない高齢者が自ら検査を希望する場合に、検査費用の半額の助成を実施
	슴計	3,888,899 (1,183,979) 2,704,920 [財源内訳] 国1,175,766 県 0 起 0 他 8,213	1, 789, 578 ( 1, 485, 562 ) 304, 016 [財源内訳] 国 551, 439 県 934, 123 起 0 他 0	5, 678, 477 (2, 669, 541) 3, 008, 936 [財源内訳] 国 1, 727, 205 県 934, 123 起 0 他 8, 213	

| | ※令和4年8月予備費補充額含む(②③④)

# 新型コロナウイルスワクチン接種について

## 1 接種の状況

# (1) 実績(令和5年2月15日時点)

①12 歳以上

	上, 左, 士, 业,	実績			
区分	対象者数 (R4.1.1 時点 住基登録人口)	1回目	2回目	オミクロン株対応 ワクチン	
65 歳以上	348, 187 人	334, 117 人 96%	333, 389 人 96%	257, 947 人 77%	
60~64 歳	82, 396 人	78, 269 人 95%	78, 053 人 95%	50, 696 人 65%	
50 歳代	205, 700 人	192, 299 人 93%	191, 276 人 93%	102, 548 人 54%	
40 歳代	242, 065 人	205, 586 人 85%	203, 658 人 84%	78, 865 人 39%	
30 歳代	211,887 人	170, 800 人 81%	168, 038 人 79%	48, 024 人 29%	
20 歳代	201, 148 人	159, 414 人 79%	155, 496 人 77%	36, 513 人 23%	
10 歳代 (12 歳以上)	110,979 人	72, 370 人 65%	70, 519 人 64%	25, 798 人 37%	
全年代 (12 歳以上)	1,402,362 人	1, 212, 855 人 86%	1, 200, 429 人 86%	600, 391 人 50%	

<sup>※</sup>オミクロン株対応ワクチンは、2回目接種済の人数に対する接種率を記載

#### ②生後6か月~11歳

H- //	対象者数 ( R4.1.1 時点 (住基登録人口)	実績			
区分		1回目	2回目	3回目※	
5~11 歳 (小児)	99, 706 人	15, 176 人 15%	13, 621 人 14%	5, 235 人 5 %	
6か月~4歳 (乳幼児)	66,197 人 (0~4歳の人口)	2,621 人 4 %	2,003 人 3 %	· ·	

<sup>※</sup>小児では初回接種(2回)と追加接種(1回)をあわせた3回目、乳幼児では初回接種(3回)の3回目を記載。なお、現時点で乳幼児の追加接種は行われていない。

# (2) 今後の方針

○現時点で、特例臨時接種の期間は令和5年3月末までとされている。現在、国において令和5年4月以降の接種のあり方について検討がなされているところであり、決定次第、適切に対応していく。

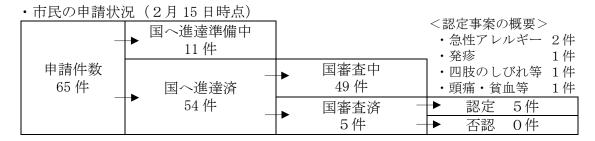
#### 2 副反応疑い報告及び健康被害救済制度の状況

#### (1)副反応疑い報告

- ○ワクチン接種後に生じた副反応が疑われる事例について、医療機関等が国に「予防接種後副反応疑い報告書」を提出するもの。国は、提出された報告について、専門家による評価を行い、安全性に関する情報提供などを行う。
  - ・市民の報告件数(2月15日時点)198件(呼吸困難、じん麻疹などのアナフィラキシー等)

#### (2) 健康被害救済制度

○ワクチン接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、給付が行われる。



## 【参考】接種概要

#### (1) 12 歳以上

- ○令和3年4月から1・2回目の接種、同年12月から3回目の接種、令和4年6月から60歳以上の方等を対象に4回目の接種を開始。
- ○令和4年9月から1・2回目の接種を完了している全ての方を対象にオミクロン株対 応ワクチンの接種を開始。

#### (2) 生後6か月~11歳

○5歳~11歳の方は令和4年3月から、6か月~4歳の方は同年11月から接種を開始。

## ※現在実施している接種の状況

対象者	接種内容	使用ワクチン	接種場所
	〔1・2回目の接種〕 3週間の間隔を空けて2回接種	ファイザー社 (従来型)	・市役所1階ロビー
12 歳以上	〔オミクロン株対応ワクチンの接種〕 前回接種から3か月以上の間隔を 空けて1回接種	ファイザー社 モデルナ社 (オミクロン株対応型)	・地域のクリニック (約 800 か所) ・集団接種会場
			(2か所) ・高齢者施設等 (出張接種)
5歳~11歳	3週間の間隔を空けて2回接種し、 2回目から5か月以上の間隔を空け て3回目を接種	ファイザー社 (小児用)	<ul><li>・地域の小児科クリニック (約60か所)</li></ul>
(小児)			・市役所1階ロビー (日曜) ※小児科医配置
6か月~4歳 (乳幼児)	3週間の間隔を空けて2回接種し、 2回目から8週間以上の間隔を空け て3回目を接種	ファイザー社 (乳幼児用)	<ul><li>・小児科を有する基 幹的病院(6か所)</li><li>・地域の小児科クリ ニック (約50か所)</li></ul>